

主催・問い合わせ

「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク

音声サポート部会

電話 042(745)0676

Email:otoiawase@tsutaeru.jp



伝えるネットは、この夏、『水俣 患者さんとその世界＜完全版＞』の音声ガイドづくりに取り組みます。

つながり、いっしょに感動する暮らしを求めて ——

音声ガイドって、なに!?

7月21日(土) 13:30~16:30

参加費
無料

 **講演とトークの集い** ～伝えることのバリアフリーを求めて～



講師

平塚 千穂子 さん

(バリアフリー映画鑑賞推進団体・シティライツ代表)



トーク

美月 めぐみ さん

(演劇結社「ばっかりばっかり」、全盲の舞台女優)

中王子 みのり さん

(伝えるネット・浜松メンバー)

平塚さんから音声ガイドのノウハウを楽しくお話いただいたら、2010年の「写真展 水俣を見た7人の写真家たち」のイベントで点字台本から見事な朗読を演じてくれた美月さんと、視覚障害があって車イスの日常からうまれたエッセー集を今年3月に出版した中王子さんに入ってもらい、音声サポートとくらしのこと、あれこれトークします。



会場:西洋の台所 HAMA

小田急線相模大野駅南口より徒歩3分

相模原市南区相模大野 8-4-7 1F ☎042(767)7771



※当事業は、さがみはら市民協働ファンドゆめの芽の助成を受けています。

～ さがみはら市民協働ファンド・ゆめの芽の助成事業 始動 ～

『水俣 患者さんとその世界＜完全版＞』音声ガイド作成プロジェクト

事業の目的

【社会的背景】 ①バリアフリーについて社会的認識が高まりハードの整備が見られるようになったが、障害者との人間的出会いの機会が得られぬまま心のバリアフリー化は進んでいない。 ②情報提供の8割が視覚によるものといわれているが、視覚障害者にとってその8割を補う情報保証は未整備である。③そんななか、障害の有無なく共感や感動を分け合う音声ガイドが徐々に市民権を得ており、絵画展や映画鑑賞など、多面的な音声サポート活動が近年生まれてきている。

【社会への働きかけ】 ①「水俣」の学びから、私たちは、多様な他者と共感を得て共生していく意味を知り、視覚障害者との出会いを得ることができた。このような人間的出会いがあること、その出会いが障害を越えて共感と生きがいを生み出す機会を地域において実現。 ②音声ガイドづくりを市民と取り組むことで、発展途上にある音声ガイドのあり方に寄与。 ③バリアフリー映画鑑賞を実現して心のバリアフリーを提言。④古典的ドキュメンタリー映画に音声ガイドを付けることで、視覚障害者に対する情報保証に寄与したい。

事業の概要

- ①音声ガイドとは何か 音声ガイドを理解するための体験講習会
※バリアフリー映画鑑賞推進団体「シティライツ」に講師依頼
- ②音声ガイドを誰とつくるか 市内および近隣地区在住の視覚障害者にモニター依頼
※学生及び市民に対し広く公募し、音声ガイドプロジェクトグループを組む。
※夏休みの「ボランティア・チャレンジスクール」との連携をはかる。
- ③『水俣 患者さんとその世界』を何故、選択するか 作品の事前上映会
※「水俣」の学びをふまえ、これまでの活動の成果を共有しながら作品的価値に触れる。
- ④音声ガイドの録音・編集 録音・編集技術者及び朗読者の手配と依頼
※音声ガイド台本が仕上がったら録音を行って、ガイドの品質の保証を行う。
- ⑤音声ガイド付き上映会の実施 ※出来上がった音声ガイドを発表する機会を兼ねて、広く市民に音声ガイド上映を体験してもらう機会となる上映会を開催。
- ⑥音声ガイドの提供 希望があれば、どこにでも提供できるようにする。



▲『水俣 患者さんとその世界』は、水俣病患者、家族の日々を克明に記録した傑作ドキュメンタリー。一九七一年。監督・土本典昭

事業の効果

- ①音声ガイドを知ってもらう。 共感に障害の有無は問わないことを知る。
(見えるものが見ているとは限らない。想像力の在り処を知る)
- ②音声ガイドのつくり方を知ってもらう。 視覚障害者とのコミュニケーション方法の端緒を知る。
音声ガイドそのものに正解のないことを知る。
- ③音声ガイドづくりを通じて視覚障害者と交流をはかる。(共同作業をすることで出会いを深める。)
- ④『水俣 患者さんとその世界』の作品理解を深める。
古典的ドキュメンタリー映画の名作を知り、水俣病事件を知る。
ドキュメンタリーという映画手法に触れ、鑑賞力を高める。
- ⑤伝えるネットにおける音声サポート部会のスタンダードを確立する機会とする。
音声ガイドの位置付け、視覚障害者との交流・共同作業、新たなメンバーとの出会い
- ⑥バリアフリー上映会の開催によって、相模原市の開催事業の前例となって、
音声ガイド付きがスタンダードになる きっかけになることを願います。

募ってます！

誰かにつくってもらうのではなく、私たちがガイドをつくりましょう。出会いを求めて。その始まりとして、以下の呼びかけをさせていただきます。

募ってます！



土本基子さんより探録シナリオの提供をすでに受けております。

そのデータ入力をしてくださる方をさがしています。パソコンでエクセルの入力ができる方、ご連絡ください。6月中にエクセルデータ化しましょう。



6月17日(日)午後1時半より伝えるネット事務所にて音声ガイドを体験するため、『阿賀に生きる』の音声ガイド付き体験上映会を行います。とにかく、体験ですっ！

募ってます！



7月23日～8月27日の原則、毎週月曜日午後1時から、音声ガイドづくりに取り組みます。都合の付く日のみの参加OKです。場所は、伝えるネット事務所です。

